

2019年度をかえりみて

2019年度理事長 佐々木 邦 和

感謝感激 雨あられ

総務委員会

副理事長 佐々木 篤 史

総務委員会。どちらかというと縁の下の力持ちで他委員会に比べると地味なイメージがありますが、今年度の総務委員会は決してそんなことが無い委員会だったと感じました。

新年祝賀会から始まり、各種総会・定例会の設営・広報発信など多くの事業を抱える中で、委員の皆様は積極的に他事業へ参加し、部会長の役割を受け持つなど委員会の職務を越えて幅広くJC活動に参加している姿を見ることができました。それに比例するように個々が成長していく姿を見て、総務委員会の副理事長として感激の一言に尽きます。

今年、総務委員会で学んだことは私を含め委員全員がきっと今後のJC活動や社業へとつながり、これから地域を担う人財として躍進していくと確信致します。

まちづくり委員会

副理事長 高 橋 美 奈

まちづくり委員会の担当副理事長の担いをいただきましたこと、まずは感謝申し上げます。ありがとうございました。

当委員会は年当初から、委員長はじめ、委員会メンバーの退会や休会が重なり、少人数での委員会運営は非常に厳しい状況でした。令和元年度五所川原市民討議会の実行委員長として事業当日に至るまでも、多くのメンバーの助けがあり開催する事ができました。事業開催により市民の皆さまからいただいたご意見が、実現にむけて動き出すよう働きかけていくことが、最後の役割であると認識し尽力して参ります。

しかし、私自身が今年は私的理由ではありますが、青年会議所活動に使える時間がほぼ無い状態であり、多くのメンバーに負担をかけてしまい、今年は役目を受けるべきでは無かったと反省しております。来年で卒業となりますが、今年1年の後悔が挽回出来るようJAYCEEとして最後まで活動して参り

ます。

最後に、まちづくり委員会を支えてくださったメンバーに心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

青少年委員会

副理事長 平 田 浩 介

本年度、青少年委員会の副理事長を務めさせていただきました。私自身、青少年系の委員会は初めてでしたが、「わんぱく相撲地区大会」や「郷土愛を醸成する事業」、「じょっぱりロード」、じょっぱりロードの「ボランティア研修会」や「参加者説明会」などを通じて、事業に参加してくれた子ども達やボランティアの皆さんの若い力を感じる事ができました。

子ども達は、子ども達なりに郷土に関しての興味や未来を考えていました。それがゆくゆくは郷土愛に繋がり、自分たちが住み暮らす郷土を誇りに思っていくと思っています。「じょっぱりロード」や「わんぱく相撲」のように自分の力を信じ最後までやり遂げる事ができる心身ともにたくましい、この子ども達ならばきっとこの地域の未来は明るいと思います。

頼りない副理事長でしたが、委員長を中心に委員会の皆さんが、協力し合い、夜遅くまで話し合い、語り合いながら、本番に臨み無事にすべての事業を大成功に終えることができました。委員会の皆さんと一緒に活動できたこと、多くの子ども達とボランティアの高校生たちと出会い、たくさんの感動と思いができたこと、いろんな経験ができたこと、すべてに感謝したいと思います。一年間ありがとうございました。

まつり委員会

副理事長 對 馬 央 也

地域のまつりである奥津軽虫と火まつりの運営に皆様のお力添えをいただき誠にありがとうございました。当初は参加団体の減少もあり、まつりの規模縮小が頭を過ぎったところ、理事長を始めとする会員の呼びかけで団体数を増やせたことに感謝を申し上げます。また、各部会長におかれましても、部会長会議をまともに開催することができなかつた中、各自で職務に取り組んでいただき、誠にありがとうございました。

そして、4月定例会を6月公開定例会に繋がる内容にさせていただけたまつり委員会にも感謝を申し上げます。地域の伝統文化であり、五所川原青年会議所が主催者であることを4月定例会で学び知り、会員がそのことに矜持を持ちながらこの2ヶ月間を共に駆け抜けたことは、まつりの伝承・企画・発展の担い手の育成に繋がり、未来に渡し受け継がれる活動が行えたものと考えます。1年間ありがとうございました。

会員研修委員会

副理事長 島 村 豊 次

会員研修委員会の副理事長として初めて野上委員長と一緒に作業をしたのはパソコンの使い方からでした。議案書の作成方法から委員会をどう動かしていけばいいのか、そして初めての定例会、きちんと委員と一緒に無事務めあげてくれました。一つの事業を実現するために沢山の人が関わり、考え、

実現するまでの大変さを再度気づくことができました。最後に、一年を通して委員長、委員会、会員の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

会員交流特別室

副理事長 島 村 豊 次

昨年沢山の新入会員が入会してくださいました。この特別室では新入会員と一緒に事業を行う事を目的に活動して参りました。山田担当理事が主体となり、事業が近くなると毎週委員会を開催し、上手く新入会員の意見を抽出していました。そこには例年にはない素晴らしい山田貴之がいました。山田担当理事お疲れ様でした。そしてこの一年は私にとっても貴重な一年間でした。最後までお付き合いくださった新入会員、会員の皆様一年間ありがとうございました。

認承55周年特別室

室 長 田 中 宏 明

本年、55周年特別室は「親子d e 立ちねぶた」「55周年記念式典」と張りのある2事業を担当させていただきました。特別室メンバーが3人という事で、2事業ともに実行委員会形式で行い、「親子d e 立ちねぶた」には小野顕成君と石田潤君が、「55周年記念式典」には島谷昌孝君と川浪剛功君が、この4人が部会長として意欲的に活動していただいたおかげで2事業とも成功に終わられました。そして、入会して間もない特別室幹事の佐々木秋子君には式典の祝賀会の司会という大役を担当していただき、見事にこなしていただきました。同い年の平山稔洋君は「親子d e 立ちねぶた」を企画し、目標1000人で計画していたのが実際は1300人の参加と、素晴らしい成果を挙げました。記念式典については私が実行委員長の立場で開催させていただき、身に余る経験をさせていただきました。本年、55周年特別室の事業に携わっていただいたすべての皆様、本当にありがとうございます。来年、この1年の経験と学びを活かして、より一層頑張って参ります。

委員会活動報告

総務委員会

構成メンバー

副理事長：佐々木篤史

委員長：神 康知

副委員長：小野 顕成

委員：山田 瀧仙、宮川 麻未、棟方 大輝、館山 美良、
坂本 曜治郎、神 圭亮、成田 洸太郎

基本方針

五所川原青年会議所は地域社会の健全な発展と次代のひとづくりによる「明るい豊かな社会」の実現を理想として創立され、2012年に公益社団法人に移行したことから、政令に定める様々な分野の公益目的事業を継続的に行うことにより、公益社団法人としての社会的責務を果たす必要があります。この組織内において総務委員会は組織の潤滑油となるべき重要な立場であることを自覚し、「自主・自律性」に基づく青年会議所運動が円滑に運営されるための土台とならなければなりません。

総務委員会は、執行部・各委員会との連携を取り合いながら、「新年祝賀会・総会・選考委員会委員選挙」を円滑に運営してまいります。加えて、各委員会の活動を迅速にホームページに公開し、地域へ我々の情熱を発信してまいります。また、会員一人一人が先輩諸兄の築きあげてきた「歴史の環」を学び、これからの明るい地域社会を想像し、更なる豊かな地域社会の創造に繋げられるような学びの場となる事業を開催いたします。

大きな責任・覚悟・自覚が求められる組織内において、総務委員会が「定例会の円滑な運営」に務め、青年会議所運動を支えると共に、青年会議所運動の「学び場」となる事業を開催し「強靱な組織づくり」に注力することが栄光の未来への架け橋となると確信し、1年間邁進してまいります。

事業報告

○1月定例会 新年祝賀会

開催日：2019年1月8日（火）

開催場所：プラザマリユウ五所川原

参加員数：来賓47名・シニアクラブ38名・県内LOM39名【招待客計 124名】

及び【会員 32名】

事業内容：先輩諸兄、関係団体を招待して日頃の感謝の気持ち、情熱をお伝えするとともに、新年度体制や各委員会の事業紹介をし、今後の五所川原青年会議所運動に対してのご理解をいただくことを目的として開催。

○2月定例会 2月通常総会

開催日：2019年2月21日（木）

開催場所：プラザマリユウ五所川原

参加員数：会員36名（委任状提出者8名） 特別会員2名 【計 38名】

事業内容：2018年度の事業報告並びに収支決算を審議することを目的として開催。

○JCを楽しもう ～「参加する」から「行動する」に変わった時に見えた新世界～

開催日：2019年4月5日（金）

開催場所：五所川原学習情報センター 2F視聴覚室

参加員数：会員20名 特別会員1名 仮入会会員2名 【計 23名】

事業内容：現役ジェネラリスト会員による各種事業の実体験を聞く機会を設けることにより、JC活動により活発に関わって頂くきっかけづくりとなることを期待して開催。

○7月定例会 役員選考委員会委員選挙

開催日：2019年7月18日（木）

開催場所：五所川原市民学習情報センター 2F視聴覚室

参加員数：会員30名（委任状提出者14名） 特別会員2名 【計 32名】

事業内容：定款及び役員選任規程に基づき、理事長及び役員を選任する委員を正会員による選挙により選任することを目的として開催。

○9月通常総会

開催日：2019年9月26日（木）

開催場所：立佞武多の館 4F練習室1

参加員数：正会員30名（委任状提出者7名） 特別会員2名 仮入会員1名 【計 33名】

事業内容：2020年度公益社団法人五所川原青年会議所の体制・組織を決議することを目的として開催。

○LOM内褒賞

開催日：2019年12月15日（日）

開催場所：プラザマリユウ五所川原

参加員数：正会員32名 特別会員1名 仮入会員2名 【計 35名】

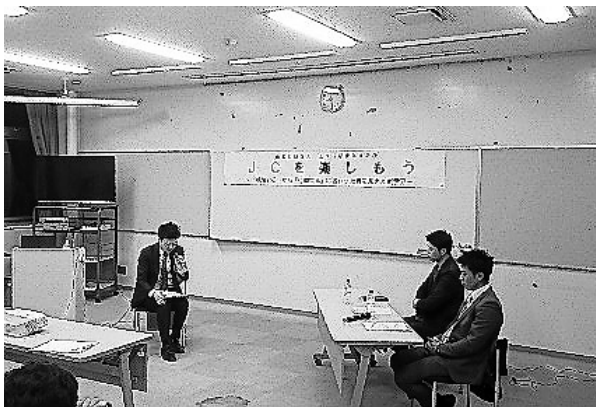
事業内容：本年度に於ける当会に最も貢献したであろう者を労い、その功績を称えることによる会員の意欲向上を目的として開催。

か え り み て

佐々木 篤史 副理事長、小野 顕成 副委員長、棟方 大輝 君、館山 美良 君、宮川 麻未 君、坂本 曜治郎 君、神 圭亮 君、成田 洸太郎 君、アンド瀧仙・・・

1年間、未熟な私を支え、励まし、奮い立たせてくれたこと感謝いたします。

そして、同卓いただきました皆様、同卓がかなわなかった皆様、私はもといいた場所に帰りますが、全ての皆様の今後のご活躍を衷心よりお祈り申し上げます。



まちづくり委員会

構成メンバー

副理事長：高橋 美奈

委員長：對馬 幸征

委員：木村 健太郎、福士 裕明、葛西 喬、和田 祐治

基本方針

私達が住み暮らす愛すべき故郷、奥津軽。この奥津軽も現在の日本経済社会にとって、少子高齢化や若者の都心部への流出による人口減少なども懸念されております。人口流出減少に歯止めをかけるためにも、まちの総合戦略などを考慮しなければなりません。ここは豊かな自然や伝承されてきた農業、観光資源の立佞武多など魅力的なまちでもあります。当会としてまちの魅力を研鑽しながら地域を牽引する気概を持ち、「地域の特色を活かしたまちづくり」をリファインしていく必要があります。

まずは、青年会議所事業の一つの柱「市民討議会」をまちの最大の魅力である「立佞武多」をテーマに開催し、更なる魅力向上のため行政や多くの市民、関係諸団体と連携を図り討議することで「五所川原立佞武多」の進化に寄与いたします。さらに、自然豊かな土地を活かした農業や伝承されてきた文化などのまちの特色を再確認し、まちの賑わいを創出しながら地域活性化の一助に努めるためにも「自らが考え、主体的に行う事業」を開催いたします。

「責任」「覚悟」「自覚」をもち、特色を活かしたまちづくりを推し進めることで、やがてまちや人にインパクトを与え、その余波でさらにより多くの人が市民参画意識高揚され地域の魅力の更なる増進になることで先行き不透明な地域の未来を照らす一光になるものと確信いたします。

事業報告

○令和元年度五所川原市民討議会

開催日：令和元年8月25日（日）

開催場所：五所川原市役所 1F 多目的スペース

参加員数：【対内】会員14名

：【対外】五所川原市民30名 五所川原市役所企画課4名 CN平井太郎様

：合計 49名

事業内容：五所川原市は現在の日本経済社会にとって少子高齢化や若者の都心部への流出による人口減少なども懸念されております。そのような混沌とした現状に歯止めをかけるべく、まちの活性化に向けて行政と連携を図り市民が意見を出し合い、当事者意識の醸成に繋がる機会を創出する必要があります。それにはまず会員一人ひとりが課題に取り組み「まち」に興味を持てる環境づくりを行政・市民・関係諸団体と共有することで、「まち」と会員の進化に寄与されることを目的とする。二つに、市民一人ひとりが当事者意識をもつことで、「まち」に興味を持ち参画意識が高揚されることを目的とし開催致しました。

かえりみて

自分を再確認した2019年度。

委員長不在中、活動してくださった委員の皆様、そしてまちづくり委員会をサポートしてくださった会員の皆様ありがとうございます。



青少年委員会

構成メンバー

副理事長：平田 浩介

委員長：松谷 朋典

副委員長：大澤 慎司

委員：下川原 伸彦、成田 若菜、小野 耕太郎、島谷 晶孝、高松 一政、金元 康伸、
山口 和徳

基本方針

現代の子ども達は、グローバル化により、特にインターネットなど情報通信技術の発展で、様々な情報を瞬時に得ることができる状況のなか生活しております。それにより、外部への意識が高まり、周囲の人への関心、地域の特異性や伝統への関心が薄れ、「郷土愛」といったものも失われつつあります。また、それに伴うコミュニケーション能力の低下、他人を思いやる気持ちの薄れなど、社会で生き抜くために必要な能力の低下が懸念されます。

そこで、当委員会では郷土の魅力や歴史を再認識させ、地域の自然・文化に触れる体験や地域の 人々との交流など、地域の特色・資源を活かした「郷土愛を醸成する機会」の事業を開催することにより、郷土を愛し、気概を持って次代を切り開くことができる人材育成を進めてまいります。さらに、多様な価値観を尊重し、自立心や社会性、創造力を養う「じょっぱりロード」の事業を展開して、多様性を柔軟に受け入れ、たくましく生き抜く力を醸成する機会を創出してまいります。

これからの未来を担う青少年が、郷土に誇りと愛着を持ち、様々な困難へも多様な価値観と創造力でたくましく生き抜き、地域で活躍する人、地域から離れても何らかの形で地域とつながる人へと成長させると確信し、1年間邁進してまいります。

事業報告

○じょっぱりロード実行委員会設立

開催日：設立期間 2019年4月1日（月）～12月31日（火）

開催場所：五所川原市民学習情報センター

参加員数：第1回22名 第2回16名

事業内容：会員が各部会に分かれ、一つのゴールへむけ協力し、情報を共有することで、綿密な打ち合わせを行い、人員等の不足がある場合でも部会同士で協力し本事業を成功へ導く。

○5月定例会「楽しく学んで！作って、食べて！目指せ！つがりあんシェフ！」

開催日：2019年5月19日（日）

開催場所：五所川原中央公民館

参加員数：正会員21名 参加者30名

事業内容：郷土の料理や特産物を学ぶための食材ハンティングゲームを行い、地域の風土や歴史を同時に学ぶことができ、地域の特産品を使った郷土料理を作ることで、食を通して郷土への関心

が高まる。その郷土への関心、すなわち郷土を知り、学ぶことで、郷土への誇りが生まれ、郷土愛を持った青少年の育成を目的とした事業。

○わんぱく相撲地区大会

開催日：2019年6月9日（日）

開催場所：弘前市 青森県武道館相撲場

参加員数：正会員4名 参加者54名 弘前JC18名

事業内容：全国大会出場をかけ弘前JC主幹にて、地区大会を共同開催。

○第35回わんぱく相撲全国大会

開催日：2019年8月3日（土）、4日（日）

開催場所：東京都墨田区総合体育館

参加員数：チーム津軽代表3名 引率者2名（弘前JC1名、五所川原JC1名）

事業内容：わんぱく相撲全国大会へ地区大会優勝した子供たちの引率他。

○8月定例会「じょっぱりロード2019」

開催日：2019年7月26日（金）～28日（日）

開催場所：五所川原市、つがる市、鶴田町

参加員数：正会員30名 参加者35名 ボランティア15名

事業内容：子ども達（参加者並びにボランティアスタッフ）が事業を通し、自分が苦しい時でも他人を思いやり、励ましあい、助け合う。そのようなコミュニケーションを自ら行動し体感してもらいます。時間や目標を同じとする仲間と共に、今まで経験した事のない感動や達成感、少しの挫折。それら全ての経験を糧として無限の可能性を持った子供たちに新しい景色を見せる。そしてこれらの経験から、郷土を想い、他人を思える青少年になることを目的として開催。

○じょっぱりロードボランティア研修会・ボランティアチラシ・参加者説明会・参加者チラシ

開催日：第1回研修会 2019年6月23日（日）

場所：五所川原市民学習情報センター

第2回研修会 2019年6月30日（日）

場所：五所川原市民学習情報センター

第3回研修会 2019年7月14日（日）

場所：事業当日コース

参加者説明会 2019年7月15日（月）

場所：五所川原市民学習情報センター

参加員数：正会員21名 参加者35名 ボランティア15名

事業内容：ボランティア研修会 チラシを配布することで広くボランティアを募集する。研修会を通じ、メンバーとの交流、子供との接し方を学び、事業の円滑な運営と高校生の成長を促す。

参加者説明会 チラシを配布することで、地域の小学生を広く募集する。事業スケジュール持ち物等、参加者への告知。また小学生の参加者へ一度自分の班、メンバーを認識させ、じょっぱりコールをすることで、連帯感を生む。

か え り み て

長いようで、あっという間の1年間でした。委員会メンバーに青少年委員会経験者もおらず、何もわからない状態でのスタートでしたが、経験豊富な委員、行動力のある若手委員、またじょっぱりロードでは部会長に恵まれ、無事事故や怪我もなく、全員完歩することができました。5月定例会から始まり、わんぱく相撲、じょっぱりロードと、1年間ずっと忙しくしておりましたが、参加してくれた小学生や高校生、様々な場面で協力いただいた方々に心から感謝しております。我々の力だけでは決して行えない事業でした。そして、その他人を思う気持ちが、郷土を思う心をより育むのだと感じました。最後に、一年間協力してくれたLOMメンバーの皆様ご協力大変ありがとうございました。



まつり委員会

構成メンバー

副理事長：對馬 央也

委員長：工藤 智哉

副委員長：山田 恭嗣

委員：斎藤 宏樹、伊藤 康太、川浪 剛功、山田 晃也、藤田 浩修
澤田 恵里加、坂本 光

基本方針

継承と発展を繰り返し、脈々と受け継がれてきた地域の幸せを願うまつり「奥津軽虫と火まつり」。本年度で47回目を迎えるこのまつりも、近年ではまつりに携わる人材不足、地域や企業から成る参加団体の減少、まつり後継者の不足など様々な問題を抱えております。

一方で観客数が徐々に増加の兆しを見せ、かつての賑わいを取り戻しつつあります。この歩みを緩めることなく、先人達から受け継がれてきた伝統の燈火を継承し、地域に根差したまつりの構築と運動を展開していかなければなりません。

まつりのすそ野拡大の為に、高校生や大学生が主体となる親善大使活動を引き続き行い、その中で次代の担い手である五所川原地域の小学生達へ見て学び体験する、まつりにふれあう機会を作ります。そしてこれまでのまつりの足跡を辿りながら、当会会員一人ひとりがこれまでの変遷を学び知識を深める定例会を開催することで新たな担い手の育成に繋げ、伝統ある「奥津軽虫と火まつり」の燈火を絶やすことなく受け継がれるよう活動を展開してまいります。

地域の「弥栄」を祈願する「奥津軽虫と火まつり」。この歴史ある伝統文化を、時代に即した形へと発展させ、地域に根付くまつりのすそ野拡大へと繋げることで、「明るい豊かな社会」の実現となるものと確信し、1年間職責を果たせるよう邁進してまいります。

事業報告

○4月定例会 「奥津軽虫と火まつりふしぎ発見」

開催日：活動期間 平成31年4月23日（火）

開催場所：ふるさと交流圏民センター

参加員数：会員25名

事業内容：古参・新参加員が「奥津軽虫と火まつり」のより深いところを学び、興味関心を持ち、まつりへの参加意識向上を目的とし開催。

○奥津軽虫と火まつり親善大使事業

開催日：活動期間 平成31年4月26日（金）～令和元年6月15日（土）

開催場所：五所川原市内各所

参加員数：会員54名 参加者（小学生）286名 親善大使93名

事業内容：親善大使とまつりを考える時間を共にし、「奥津軽虫と火まつり」の魅力を改めて感じ、その魅力を発信するために開催。

◇親善大使活動説明会 4月26日(金)

- ・五所川原商業高等学校 19名
- ・五所川原第一高等学校 5名
- ・五所川原農林高等学校 7名
- ・五所川原工業高等学校 10名
- ・東北能開大青森校 52名

◇紙芝居事業 5月30日～6月7日

- ・5月30日 南小学校 : 4年生42名
- ・5月31日 栄小学校 : 3年生68名
- ・6月 4日 金木小学校 : 3年生32名
: 4年生43名
- ・6月 6日 五所川原小学校 : 3年生46名
- ・6月 7日 中央小学校 : 3年生55名

◇マスメディア出演

- ・ラジオ 6月 6日～6月12日(計3回)
- ・テレビ 6月10日(わっち)

◇市長表敬訪問 6月5日



か え り み て

当初、まつりの変遷を学び知り、まつり男・まつり女を当会より輩出できればとの思いから始まったまつり委員会2019でした。が、しかし方向性を見失い何をしたらいいかわからなくなってしまいました。そんな時に力強く引っ張ってくれた年長コンビの山田さん、斎藤さんそして、委員会メンバーには本当に助けてもらいました。まつりへの意識を親善大使活動、松明製作を通して、まつり本番に繋げる事が出来たと思います。

全てのメンバーに感謝申し上げます。ご尽力頂きありがとうございました。



会員研修委員会

構成メンバー

副理事長：島村 豊次

委員長：野上 新一朗

副委員長：葛西 翔悟

委員：平山 智久、平山 厚生、竹内 大介、吉田 富士雄

基本方針

五所川原青年会議所は「明るい豊かな社会」を実現する活動に取り組み、自分たちの住む地域を想い、共感できる仲間を増やしてきました。これから必要になる活動は、我々が社会人として地域を担っていく人材になるべく、互いに切磋琢磨しあい、個々の活動に還元しながら、会員一人ひとりの資質の向上に努める事が重要です。そうする事で会員の拡大にも繋がっていきます。その活動を地域に広く、青年会議所の魅力を積極的に伝える活動をする事が重要です。

その為には、当委員会が中心になって、「個々の活動に還元できる知識を学ぶ機会」を創出し、更なる人材育成に努めてまいります。また、新入会員に対して青年会議所を知っていただく為に知的欲求を調査し、それに応えていくとともに新たな信頼関係を築いてまいります。その為にも、当委員会では青森ブロック協議会等の会員拡大セミナー等も積極的に参加し、個々の資質の向上に努めるとともに地域を担っていける人材育成に繋げてまいります。

社会人として模範となれる人材を育成する事によって、会員一人ひとりの資質が向上し、この地域を担っていくべき人材に昇華します。更には、当会の発展、地域の発展に繋がっていくものと確信し、一生懸命1年間邁進してまいります。

事業報告

○3月定例会「働き方改革を学ぼう」

開催日：平成31年3月20日（水曜日）19時～21時

開催場所：五所川原市民学習情報センター1階

参加員数：会員33名、仮入会員2名、オブザーブ10名

事業内容：「働き方改革」の知識をひとつでも多く学んで頂くことによって、会員の資質向上、そして青年経済人としての活動にも繋がっていく事を目的とした講師例会の開催。

講師：川村啓之社会保険労務士事務所 代表取締役 川村啓之（かわむらひろゆき）

○会員拡大事業

開催日：理事会承認後通年

開催場所：五所川原青年会議所・定例会・総会・各種事業

参加員数：正会員52名、特別会員2名、仮入会員1名

事業内容：①会員拡大担当者に入会リストを渡し、説明、候補者との関係性、年齢などの情報収集。

②先輩諸兄に挨拶に行きリストを確認してもらい情報収集する。

- ③他団体とお互いの情報交換をする。
- ④当委員会で拡大リストを精査して、訪問できる日時など段取りする。
- ⑤入会案内をうながし訪問やアクションを起こす。

か え り み て

忘れもしない、今年度のじょっぱりロードの最中に岩木山神社で参拝しに行く時でした。とある人から「来年、委員長やねが？」と言われ言葉を悩んでいると、「断る理由ねーべ！」と言われ断る理由がなく、初めての委員長となりました。

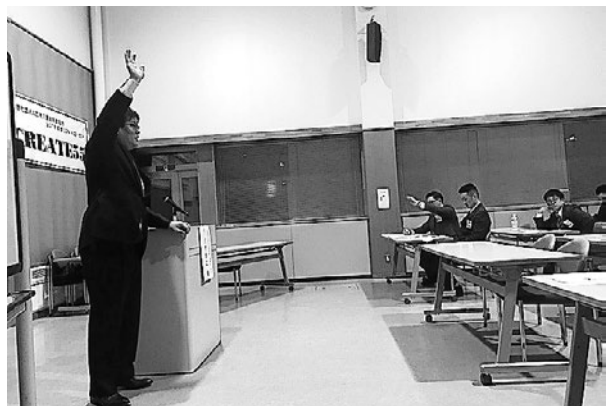
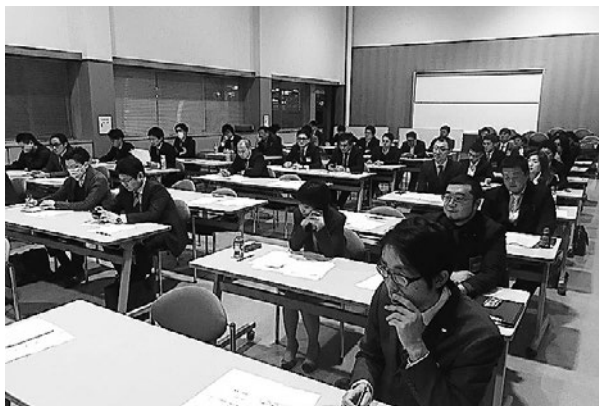
初めての基本方針の時点で何回も投げだそうと思いました。それでも、副理事長は親切に教えてくれて、何とか乗り越えることができました。

そして3月定例会と言うこともあって、何もわからないままの議案書作成です。そして理事会です。わからない事の連続で大変苦労しました。

しかし、終わってみれば苦労しましたが、とても身になる経験をしたとおもいました。また、会員拡大事業ですが、昨年ほどとは行きませんが7名の方に入会いただきました。

会員に対する周知など、会員候補者リストの精査など、楽な事はありませんでしたが、3月定例会も含め、会員研修委員会のメンバーに支えられて無事に一年間邁進することができました。

結びに、島村副理事長をはじめ委員会のメンバーに改めて感謝の気持ちを申し上げます。
一年間ありがとうございました。



会員交流特別室

構成メンバー

副理事長：島村 豊次

担当理事：山田 貴之

委員：川村 優弥

基本方針

近年では若者の都市部への流出や少子高齢化など様々な要因で入会対象者の人口減少は喫緊の問題となっています。しかしながら2018年、五所川原青年会議所は多くの仲間に恵まれました。新年度を迎えるにあたり、明るい豊かな社会実現の為にリーダーとして活躍しうる人材育成は急務であり、また会員相互の想い、絆を深める機会を設け、当会の組織力を存分に発揮できる環境を構築していかなければなりません。

その為には「当会の諸先輩方との交流する機会」を設け、交流を通して当会組織への理解の深化、思想の深化、当会の歴史を知ることによって組織力を高めてまいります。また、「新入会員が主体的に行う交流事業」の企画・運営を新入会員と共に行うことで会員相互の絆を深め、青年会議所の意義や魅力を理解してもらいます。さらに「自ら考え実践する機会」を通して会員同士が友情や絆を深め合うと共に、一年を振り返る場を企画し次なる年度を展望することで、組織力の底上げを行ってまいります。

多くの新入会員が入会した今、事業を通して苦楽を共にすることで強い友情や絆を深めることが出来ます。互いを理解しあうことで組織をより一層強固なものとし、魅力ある団体へとさらに進化して青年会議所運動の広がりを通じ「明るい豊かな社会」実現の為に、1年間邁進してまいります。

事業報告

〇〇B交流会

開催日：平成31年2月26日（火）

開催場所：学習情報センター1階・大教室

参加員数：会員28名 シニアクラブ27名

事業内容：五所川原青年会議所会員と五所川原シニアクラブとディベート手法を用いて交流を図る。

〇JC大運動会

開催日：令和元年9月22日（日）

開催場所：柏総合体育館

参加員数：会員24名

事業内容：新入会員が主体的に事業を考え「JC大運動会」を行いました。赤白組にチーム分けをして団体種目6競技ポイント制で勝ち負けを決めました。

競技・四人五脚走・大縄跳び・人間玉入れ・借り物障害物競争・綱引き・リレー

〇12月定例会

開催日：令和元年12月15日（日）

開催場所：プラザマリユウ五所川原

参加員数：会員35名

事業内容：2019年度委員会活動紹介動画上映・2019年度委員会かえりみて・理事長かえりみて
理事長バッジ引き継ぎ・直前理事長バッジ引き継ぎ・プレジデンシャルリース伝達
2020年度理事長予定者挨拶並びに2020年度基本計画発表・2020年度出向者紹介
今年の事業を振り返り、2019年から2020年へのバトンを渡すための定例

かえりみて

今年は中々やることない事業をチャレンジしてきました。ディベートを使ったOB交流会ではOBが27名という沢山の諸先輩方が集まって頂き懇親会もまさかの全員参加と沢山の交流ができました。またJC大運動会など委員が少ないにも関わらず多くの会員、そして新入会員と一丸となり事業を円滑に行い、無事終えることが出来ました。当初は理事長から「会員が増えたこともあり、新入会員が主体的に行う事業をやってくれと」頼まれたときは自分の中でまとまるのか不安ではありました。ですが参加された新入会員が積極的に案を出しJC大運動会を開催することになり、本番ではずっと笑っていた事業でした。本年携わって頂きました会員の皆様、本当にありがとうございました。



認承55周年特別室

構成メンバー

室 長：田中 宏明
担当理事：平山 稔洋
幹 事：佐々木 秋子

基本方針

1963年、志高き青年が相集い力を合わせ当会を設立し、翌年の認承から記念すべき55周年を迎えることができました。それは、「明るい豊かな社会」を創造し、弛まぬ努力の下この地域と共に礎を築かれてきた先輩諸兄が運動を展開してきた結果であります。その歴史を脈々と紡がれた土壌を受け継ぐ我々現役メンバーは、その燈火を絶やさぬよう、次なる世代を見据えて運動を展開し発信していかなければなりません。

そこで、これまで脈々と紡いできた五所川原青年会議所運動を理解・共有し、個人・地域のニーズの発見と明確化をするための調査・現状分析を行い、それを形にした記念事業「今だからできる。そして今しかできない事業」を展開してまいります。また、55年間先輩諸兄や地域の皆様に支えられながら運動を展開できたことに感謝の意を込め、そしてこれまでの活動実績を報告する場の「認承55周年記念式典・祝賀会」を開催します。

時代の移り変わりや社会構造の変化の中、積極的な変化を求め次なる世代を見据えた運動を展開することで、確かな時代を築く原動力となり確実な一歩を踏み出し、やがて「明るい豊かな社会」の創造に繋がるものと信じ1年間精進してまいります。

事業報告

○55周年実行委員会（全3回+部会長会議5回）

開 催 日：設立期間 平成31年2月21日（木）～12月31日（火）

開催場所：プラザマリユウ五所川原、中央公民館視聴覚室、五所川原市民学習情報学習センター2F 視聴者、事務局

参加員数：全体会議

・第1回38名 ・第2回29名 ・第3回22名

部会長会議

・各5名 延べ25名

事業内容：55周年に係る2事業（親子de立ねぶた・記念式典祝賀会）の企画・運営を円滑に行うために、実行委員会を通して仲間意識を深める。

○認承55周年特別室記念事業 親子de立ねぶた ～手をつなごう～

開 催 日：令和元年8月4日（日）～8月8日（木）

開催場所：五所川原立佞武多 忠孝太鼓前スペース

参加員数：正会員26名

参加者

親子レク773名 一般参加者517名 計1,290名

事業内容：青少年育成の一環と位置付け、子供たちを対象に地域の魅力である「五所川原立佞武多」に参加していただき郷土愛を育むことを目的とし、忠孝太鼓前のスペースに枠を設け、親子で練り歩く。

○認承55周年記念式典・祝賀会

開催日：令和元年11月9日（土）

参加員数：会員34名

特別来賓11名 来賓40名 シニア32名 来訪JC45名 姉妹JC6名
計134名

事業内容：当会を支えて下さっている皆様に、感謝の意を表し、55周年記念事業を報告するとともに、60周年を見据えた意志を発信する事と、皆様との良い関係を維持し、また、発展に繋げる機会として記念式典祝賀会の開催。

か え り み て

JC生活の中でも担当することは滅多にない周年特別室。担当室長は同期の田中宏明君。そして、近年仲間になった佐々木秋子君と3人の組織で始まり、年当初、記念事業計画が総崩れしやる気がなくなったことを覚えています。しかしながら、理事長・室長・幹事と話し合いを重ね、各団体とも話しをし「親子de立ねぶた」が立ち上がり計画を進めていくことができました。その中で部会長の2人がすさまじい行動力を見せてくれ僕の活力を引き出してくれ、また、ナーバスになっているときに支えてくれた佐々木幹事、いつもそばで見守り助言してくれた田中室長、本当にありがとうございました。事業終了まで協力して下さったメンバーの皆さん、本当にありがとうございました。

式典では田中室長を筆頭に若い部会長2人が成果を見せてくれましたが、僕は式典の計画には尽力をできなかったことお詫び申し上げます。

最後に、この55周年という節目の担当理事として声をかけて下さった理事長、本当にありがとうございました。この1年を通して1人では何もできないことを痛感しました。



2019年度庶務報告

《入会者》

吉田 富士雄、山口 和徳、竹内 大介、金本 康伸、和田 祐治、笹森 大新、成田 健斗

《卒業者》

宮崎 敬也、坂本 興平、下川原 伸彦、成田 若菜、神 康知、山田 恭嗣、小野 耕太郎、
齊藤 宏樹、神 圭亮、藤田 浩修、小山内 堅治、金本 康伸

◇JC功労賞

小野 耕太郎、小山内 堅治、金本 康伸、齊藤 宏樹、
坂本 興平、下川原 伸彦、神 圭亮、神 康知、
成田 若菜、藤田 浩修、宮崎 敬也、山田 恭嗣

◇定例皆勤賞

小野 顕成、下川原 伸彦、山田 瀧仙

◇新人賞

高橋 溪太

◇理事長賞

山田 貴之

◇CREATE55賞

認承55周年特別室

◇バロンドール五所川原JC賞

松谷 朋典

◇委員会 OF THE YEAR 2019

青少年委員会

◇JAYCEE OF THE YEAR 2019

石田 潤

月 日	行 事	場 所
1 月		
3 日	①三役会(13時～)	事務局
8 日	新年祝賀会(18時～)	プラザマリユウ
10日	①理事会(19時～)	4 階会議室
11日	東奥日報取材(理事長)(13時～)	事務局
15日	支払日	
17日	青少年委員会(19時～)	事務局
23日	総務委員会(19時～)	事務局
24日	まつり委員会(18時30分～事務局)／会員研修交流委員会(19時～事務局)	
29日	②三役会(19時～)	事務局
2 月		
1 日	月次巡回監査(10時30分～)	
4 日	②理事会(19時～)	4 階会議室
5 日	陸奥新報取材(理事長)(11時～)	事務局
6 日	青少年委員会(19時～)	事務局
9 日	市民提案型事業成果報告会(2018じょっぱりロード)(10時～)	市役所
13日	青少年委員会(19時～)	事務局
15日	支払日	
18日	③三役会(19時～事務局)／基金管理委員会(18時30分～事務局)	
21日	2 月通常総会(19時～)	プラザマリユウ
26日	OB 交流会(19時～)	学習情報センター
27日	青少年委員会(19時～)	事務局
28日	青少年委員会(19時～)	事務局
3 月		
5 日	③理事会(19時～)	4 F 会議室
7 日	月次巡回監査(10時30分～)	
12日	会員研修委員会(19時～事務局)／まつり委員会(19時～事務局)	
15日	支払日	
20日	定例会(18時45分～)	情報学習センター
22日	青少年委員会(19時～事務局)／周年委員会(19時～事務局)	
25日	④三役会(19時～)	事務局
27日	周年委員会(19時～)	事務局
29日	総務委員会(19時～事務局)／青少年の立佞武多参加事業①実行委員会(19時～商工会館5階)	

月 日	行 事	場 所
4月		
4日	④理事会(19時～)	4F会議室
5日	JCを楽しもう(総務委員会)(19時～)	学習情報センター
8日	月次巡回監査(10時30分～)／青少年委員会(19時～事務局)	
11日	まつり事始祭(18時～)まつり①実行委員会(19時～神明宮)	
12日	周年委員会(19時～)	事務局
15日	支払日	
16日	親子de立ねぶた部会長会議(18時～)	
17日	青少年委員会(19時～)	事務局
19日	まつり委員会(19時～事務局)／周年委員会(19時～)	
23日	定例会(19時～)	ふるさと交流圏民センター
24日	⑤三役会(19時～)	事務局
25日	青少年委員会(19時～)	事務局
26日	①じょっぱりロード実行委員会(19時～)	学習情報センター
5月		
6日	⑤理事会(19時～)	4F会議室
7日	まつり作業はじめ(17時50分～)	旧鶴谷製材所
8日	月次巡回監査(10時30分～)／周年委員会(19時～事務局)	
14日	青少年委員会(19時～)	事務局
15日	支払日	
16日	親子de立ねぶた②実行委員会(19時～)	商工会館5F
19日	つがりあんシェフ(5月定例会)(8時40分集合)	中央公民館
23日	⑥三役会(19時～)	事務局
29日	周年委員会(20時～)	事務局
30日	まつり②実行委員会(19時～神明宮)／まつり警備打合せ(16時～)	
6月		
5日	⑥理事会(19時～)	4F会議室
6日	月次巡回監査(10時30分～)	
7日	まつり参加者説明会(19時～)	中央公民館
9日	わんぱく相撲地区大会 in 弘前	
10日	まつり会員説明会(19時～)／55周年②全体会議(20時～中央公民館)	
13日	AM杉葉とりPM河原設営	
14日	まつり準備・前夜祭	

月 日	行 事	場 所
15日	奥津軽虫と火まつり(6月定例会)	
16日	まつり後片付け	
17日	支払日	
19日	じょっぱり部会長会議(19時～)	事務局
23日	①じょっぱりボラ研(13時～)	学習情報センター
25日	②じょっぱり実行委員会(19時～)	学習情報センター
26日	⑦三役会(19時～)	事務局
30日	②じょっぱりボラ研(13時～)	学習情報センター
7月		
8日	月次巡回監査(10時30分～)	
11日	⑦理事会(19時30分～)	拓心会
12日	支払日／青少年委員会・総務委員会(19時～事務局)	
14日	③じょっぱりボラ研(試歩)(8時～17時)	
15日	じょっぱり参加者説明会(13時～学習情報センター)・安全祈願祭(17時～神明宮)	
16日	まちづくり委員会(13時～事務局)／親子de立ねぶた親子レク説明会(19時～中央公民館)	
17日	市民討議会①シミュレーション(19時～)	市役所
18日	定例会(19時～)	学習情報センター
22日	親子de立ねぶたJC・YEG会員向け説明会(19時～)	中央公民館
23日	⑧三役会(19時30分～)	
26日	じょっぱりロード(8月定例会)～28日まで	
8月		
1日	⑧理事会(19時30分～)	4F会議室
4日	親子de立ねぶた～8日まで	
5日	月次巡回監査(10時30分～)	
9日	支払日	
19日	周年実行委員会③全体会議事前説明会(19時～)	事務局
22日	周年実行委員会③全体会議(19時～)	学習情報センター
25日	市民討議会(13時30分～17時)	市役所
27日	新入会員セミナー(19時～)	4F会議室
29日	⑨三役会(19時30分～)	事務局
9月		
5日	⑨理事会(19時30分～4F会議室)／月次巡回監査(10時30分～)	
17日	支払日／③まつり実行委員会(19時～一心亭)	

月 日	行 事	場 所
22日	JC大運動会(13時～)	柏総合体育センター
24日	⑩三役会(19時30分～)	
26日	定例会(19時～)	立佞武多の館
10月		
1 日	2020年度会員拡大特別室委員会(19時～)	
4 日	月次巡回監査(10時～)	
7 日	⑩理事会(19時30分～)	4F会議室
15日	支払日	
16日	2020年度①予定者理事会(19時～)	4F会議室
21日	青少年の立佞武多参加事業④実行委員会(19時～)	和モダンカフェ
24日	JCセミナー(18時30分～)	学習情報センター
25日	⑪三役会(19時30分～)	事務局
31日	2020年度②予定者理事会(19時～)	4F会議室
11月		
5 日	月次巡回監査(10時30分～)／⑪理事会(19時30分～4F会議室)	
6 日	認承55周年記念式典事前リハーサル(19時～)	プラザマリユウ
9 日	認承55周年記念式典(10月定例会)(17時～)	プラザマリユウ
15日	支払日／認承55周年記念講演(18時15分～ふるさと交流圏民センター)	
18日	青少年委員会(19時～)	事務局
20日	2020年度③予定者理事会(19時～)	4F会議室
25日	⑫三役会(19時30分～)	事務局
12月		
4 日	2020年度④予定者理事会(19時～)	4F会議室
6 日	月次巡回監査(10時30分～)	
10日	⑫理事会(19時30分～)	4F会議室
12日	委員長セミナー(19時～)	事務局
15日	定例会(13時～)・卒業式(15時～)・クリスマス家族交流会(17時30分～プラザマリユウ)	
16日	支払日／2020年度⑤予定者理事会(19時～4F会議室)	
19日	決算理事会(18時30分～良治)	
27日	御用納め	